

ROBOLAB 2.9.4 情報

○免責事項

本資料に掲載する情報については、注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。株式会社アフレは本資料の使用ならびに閲覧によって生じるいかなる損害にも責任を負いかねます。また、本資料の情報は予告無く変更される場合があります。

※各製品名及びサービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

作成日：2008/12/15



[ROBOLAB2.9について

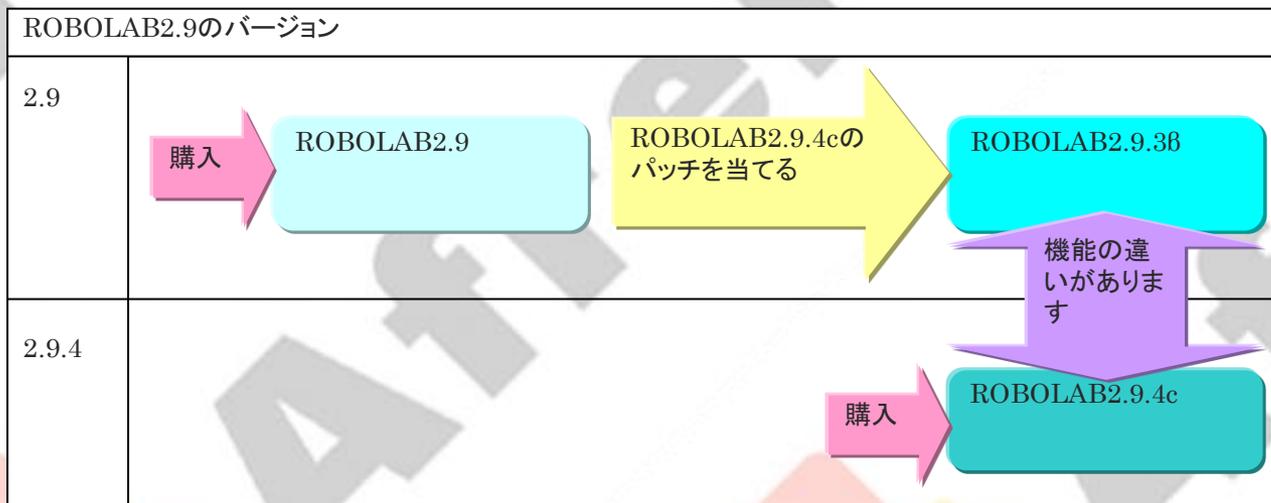
- ROBOLAB2.9は、新しい教育用レゴ マインドストームNXTに対応するソフトウェアです。更に、教育用レゴ マインドストームRCXも今まで同様に使用することができます。
- そのために、いくつかの新しいツールや、アイコンが追加されています。また、RCXを更に活用するために、RCX用の新しいファームウェア等が追加されています。
- また、ROBOLAB2.9には、いくつかのバージョンがあり、それぞれのバージョン間で機能に違いがあります。

[ROBOLAB2.9のバージョンについて]

- ROBOLAB2.9には、次のバージョンが存在します。
 - ROBOLAB2.9
 - ROBOLAB2.9.3β
 - ROBOLAB2.9.4c

特にROBOLAB2.9.4cは、ROBOLABの最新バージョンとして、次のような機能の追加がなされています。

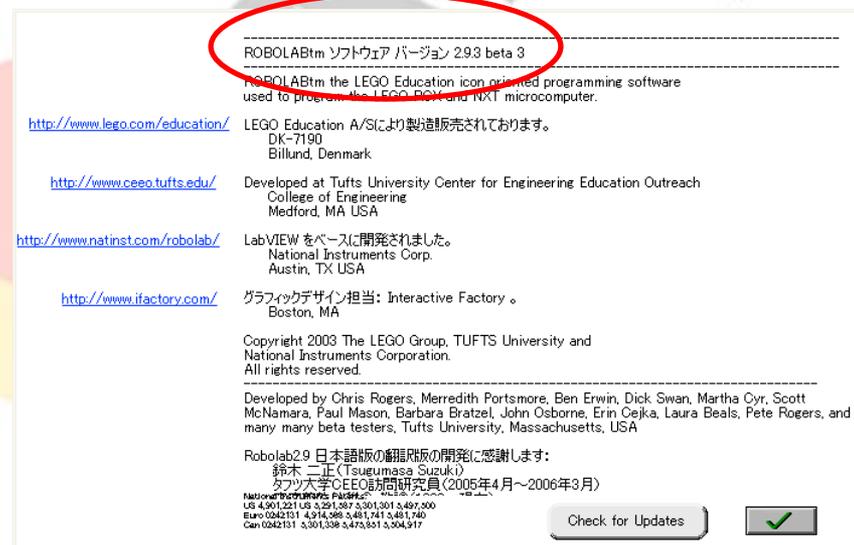
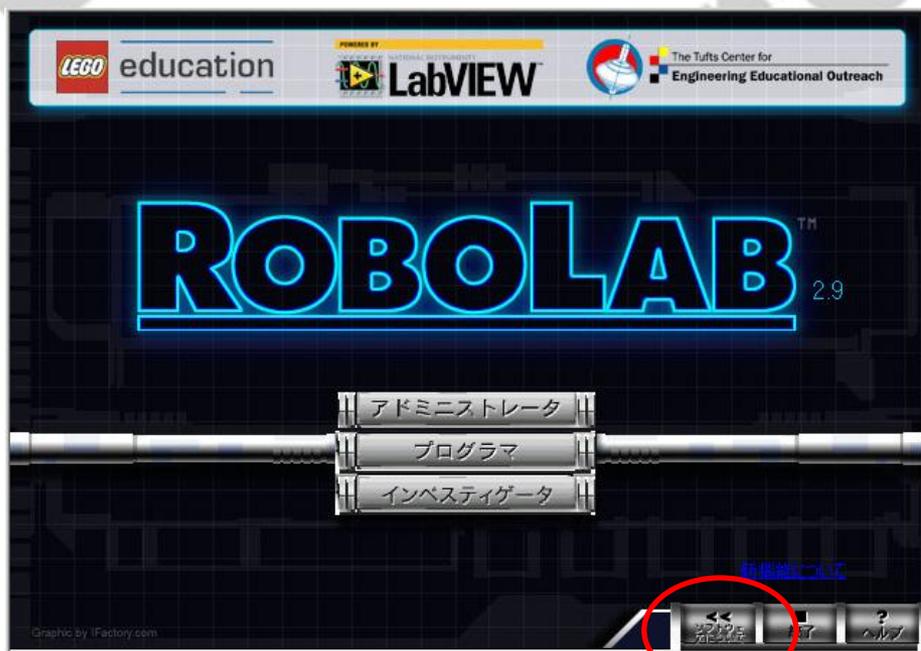
- 新しい温度センサのサポート ※温度センサは、2009年1月発売予定です。
- Mac OS X(Tiger以降)でのネットワーク問題への対応
- Investigatorのプログラムレベル3における、ロギングON/OFF機能の問題点改善
- サードパーティ社製センサへの対応
 - Codatex社製 RFIDセンサ
 - HiTechnic社製 各種センサ
 - Mindsensors社製 各種センサ



	ROBOLAB2.9	ROBOLAB2.9.3β	ROBOLAB2.9.4c
インストール方法	ROBOLAB2.9のCD-ROMからインストールする	ROBOLAB2.9のCD-ROMからインストールし、ROBOLAB2.9.4cのパッチをインストールする	ROBOLAB2.9.4のCD-ROMからインストールする
対応OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP SP2 Mac OS X v.10.3.9 Mac OS X v10.4 	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP SP2 Windows Mac OS X v.10.3.9 Mac OS X v10.4 	<ul style="list-style-type: none"> Windows XP SP2 Windows Mac OS X v.10.3.9 Mac OS X v10.4

バージョンの確認方法

- ROBOLAB2.9のバージョンは、次の手順で確認ができます。
ROBOLABを起動します→「ソフトウェアについて」ボタンをクリックします
→画面の一番上のソフトウェアバージョンを確認します。





各バージョンの相違点(1)

	ROBOLAB2.9	ROBOLAB2.9.3β	ROBOLAB2.9.4c
RCX・NXT共通		Windows Vistaをサポートするようになりました。	
	タスク優先度の管理機能が追加されました。		
	浮動小数点の計算が可能になりました。	式評価ブロック(算術演算用ブロック)が追加されました。(sqrt, log10, log, asin, acos, abs, modulo) 浮動小数点数の比較に関する障害の対策がされました。	
	Inventor4で、データロギング機能が使用可能になりました。		
		ROBOLAB2.9のその他の機能について改善されています。	
RCX	RCXのファームウェアの処理速度が高速になりました。	RCX用ファームウェアのダウンロードの信頼性が改善されました。	
	モータスピードを数値で制御できるようになりました。		
NXT	NXTに対応しました。		
	NXT開始アイコンを使えるようになりました。		
	Inventor4で、全てのNXTセンサに対応しました。		
	Investigatorの統合がされました。		
	ロギング中にグラフがディスプレイ表示されるようになりました。		
	プログラム動作中にポートの値を見ることができるようになりました。		



各バージョンの相違点(2)

	ROBOLAB2.9	ROBOLAB2.9.3β	ROBOLAB2.9.4c
NXT		<p>メールアイコンでNXT間のBluetooth通信ができるようになりました。</p> <p>NXTのLCD上に大きなフォントや中揃えで表示ができるようになりました。</p>	
		NXTのLCD上の任意の場所に書き込みができるようになりました。	
		NXT上のスクリーンイメージをNXTのダウンロードダイアログから更新できるようになりました。	
		サブルーチンが高速化され、サブルーチンを入れ子にして使うことができるようになりました。	
		<p>新しい温度センサ機能が一部追加されました。</p> <p>※温度センサは、2009年1月発売予定です。</p>	<p>新しい温度センサ機能が追加されました。</p>
		Vernier社製のセンサをサポートしました。	
		HiTechnic社製のセンサをサポートしました。	HiTechnic社製のセンサ用アイコンが更に追加されました。
		Mindsensors社製のセンサをサポートしました。	
			Codatex社製 RFIDセンサをサポートしました。